

新春ごあいさつ



運営委員会 会長
久保 憲 雄

新年明けましておめでとうございます。JAいわてグループの会員JA・組合員・役員ならびにご家族の皆さま方には、お揃いで新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は夏の低温・日照不足などの天候不順に加え、度重なる大雨や台風に見舞われるなど、自然災害が多発しました。被害を受けた方々に対し、お見舞い申し上げます。

さて、農業をめぐる情勢につきましては、農業者の高齢化と担い手不足・耕作放棄地の解消など重要な課題が山積みしていることに加え、昨年ベトナムで行われたTPP11関係会合で、新協定が大筋合意となりました。農業分野に関しては、アメリカの離脱を踏まえ、脱脂粉乳やバターへの輸入枠、それに牛肉・豚肉のセーフガード発動基準の見直しが行われるかどうか注視していましたが、農業分野の協定は修正されませんでした。

また、既に大枠合意した日EU・EPAについても、チーズや豚肉で大幅な市場開放を迫られるなど、本県の畜産・酪農振興への影響が危惧される点があります。加えて、平成30年産以降の米の生産調整の見直し、規制改革推進会議の急進的な農協改革の提言など、これまでにない厳しい状況にあります。



こうしたなかで、今次中期3か年計画の3年目を迎える全農岩手県本部においては、第44回JA岩手県大会決議にもとづく「農家組合員の所得増大」ならびに「農業生産の拡大」に向けた最重要施策を引き続き着実に実践するとともに、「魅力増す農業・農村」の実現に向けたJAグループの取り組みと提案」および第48回臨時総代会で決定した「農林水産業・地域の活力創造プラン」に係る本会の対応について、全農自らの改革として生産資材事業・販売事業の実施具体策を、持続可能な岩手の農業振興、農家組合員の所得増大と地域の活性化に、職員一丸となって取り組んでまいります。



新年明けましておめでとうございます。さて、昨年は第4次安倍内閣が発足し、自民党の衆議院選公約が実現されることとなり、す。公約ではJAグループの自己改革を後押しする方針を示した一方、具体的な内容は避けています。政府の農協改革集中期間が迫るなか、われわれはJA自己改革の着実な実践を進め、真の農業の発展および農家所得の増大に貢献していく所存でございます。

30年度は、今次3か年(28～30年度)で定めた事業施策を基本フレームに、「魅力増す農業農村」の実現に向けたJAグループの取り組みと提案」で示した具体策を深化・拡充するとともに、「農業競争力強化プログラム」で本会に求められている取り組みを、スピードを上げて実践いたします。

また、「農家組合員の所得増大」に向け、今次3か年で定めた「純情産地確立(栄(さかえ)プラン)の実践と、農業生産の拡大をはかるための生産基盤維持・拡充策を層加させて取り組むとともに、政府の「農林水産業地域の活力創造プラン」に係る本会の対応について、全農自らの改革として生産資材事業販売事業の実施具体策を、年次計画を着実に実践し、持続可能な岩手の農業振興、農家組合員の所得増大と地域の活性化に、職員一丸となって取り組んでまいります。

第一に、販売事業では「県産農畜産物の販売力強化」の環として、米穀部門では、昨年全国デビューした県オリジナル新品種「金色の風」と高い評価を得ている「銀河のしずく」の2トップを、県行政・JAいわてグループ一体となりブランド化に取り組み、実需消費者からの「いわて純情米」全体の評価を高め、「売れる米の産地」としての地位を確立いたします。園芸部門では加工業務用向



県本部長
畠 山 俊 彰

け野菜の買取拡大をはじめグループ会社を含めた直販事業の強化を推し進めることで、「いわて純情野菜」の産地形成を販売面からもサポートします。畜産部門では引き続き「いわて牛」ブランドのPR強化を関係機関と連携し取り組みます。以上を実現するための販売手法の環として、必要に応じて「買取販売」を拡充してまいります。

第二に、「トータルコスト低減」に向けて、資材部門の「BB肥料大規模農家対策」「系統農業担い手生産組織対策」の定着化を図るとともに、「BB肥料水稲銘柄普及対策促進要領」を制定し、生産者が実感できる生産資材コスト低減に、JAと一体となって取り組みます。また、「生産者手取り最大化」に向けたモデルJA生産者の取り組みについては、一定の成果が出てきておりますので、その実証結果を県内に水平展開していく段階に移行してまいります。また、事業体制の広域化や集約化の検討も進め、事業運営コストの見直しを図ります。

第三に、「生産基盤の維持・拡充」ですが、園芸部門では反収向上や新技術普及を図るため、「園芸産地改革ネットワーク部会」を設置し、技術的、流通的な課題解決に取り組むとともに大型園芸農家への冬春作物の導入を積極的に提案してまいります。畜産部門では、乳牛借り腹事業により、借り腹牛への受胎卵無償移植および借り腹産子の早期引取を実施し、哺育育成の省力化に取り組んでいます。

JA組合員の皆様の「期待」ご要望に応えることができますよう全農岩手県本部職員一同、よりスピード感をもって「自己改革」を進め、誠心誠意努力いたします所存でございますので、本年も引き続き皆様のより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



JA-SSの お客様満足度(CS) 向上に向けて

北東北石油事業所

特集

純情産地発
クララ
みんなの力で!
がんばろう!岩手
純情産地いわて

KLARA vol.822
2018.1
contents

新春ごあいさつ	02	純情人	06
特集 JA-SSのお客様満足度(CS) 向上に向けて	03	みんなの分教場	07
消費地だより	06	純情むすめハーフタイム	08
		ニュースワイドアングル	10

タイトルのKlara(クララ)は、宮沢賢治の手帳にのしるされている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



1. 調査目的
 1. 調査目的
 1. 調査目的

2. 調査期間
 2. 調査期間
 2. 調査期間

3. 調査対象
 3. 調査対象
 3. 調査対象

4. 調査員
 4. 調査員
 4. 調査員

5. 調査方法
 5. 調査方法
 5. 調査方法

7. カテゴリー別の得点
 7. カテゴリー別の得点
 7. カテゴリー別の得点

6. 調査結果
 6. 調査結果
 6. 調査結果

「また、利用したいと思うか」再来店意向の結果
 「また、利用したいと思うか」再来店意向の結果
 「また、利用したいと思うか」再来店意向の結果

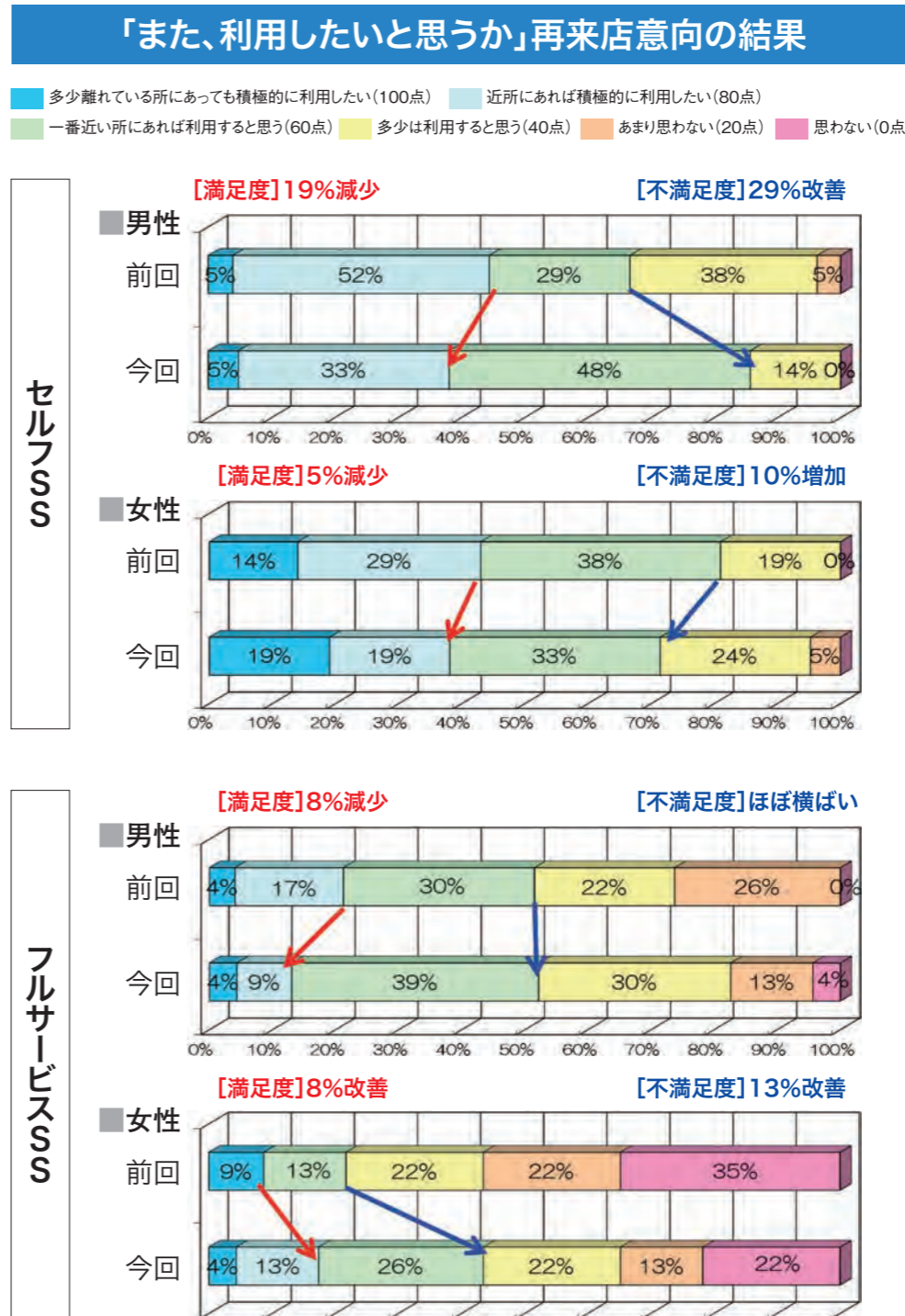
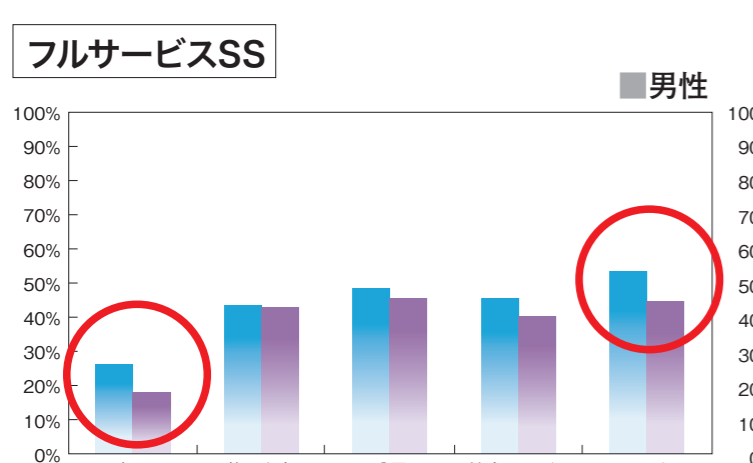
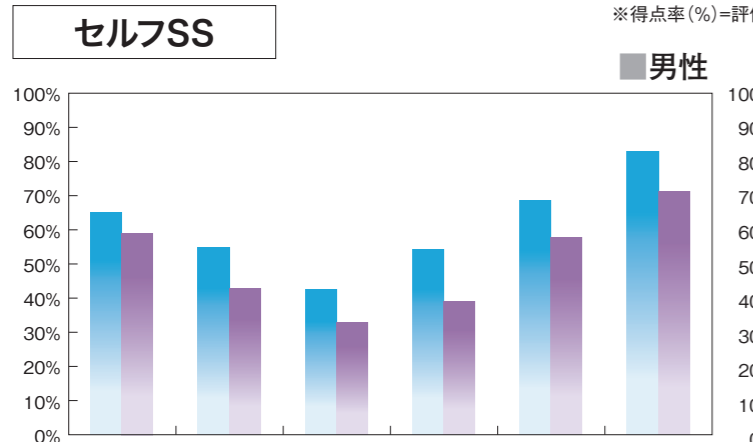
セルフSS
 セルフSS
 セルフSS

フルサービスSS
 フルサービスSS
 フルサービスSS

セルフSSでは男性の満足度が大幅に改善しており、スタッフの親切な応対や元気で明るい挨拶、店舗全体の清潔感や判り易い表示などがポイントとなっております。

フルサービスSSは女性の満足度が大幅に改善しており、来店時のスタッフの素早く丁寧な対応や、窓ふきサービスなどの丁寧感などがポイントとなっております。しかし、スタッフの身だしなみの乱れ

不満足のコメントとしては、表示が判りにくい、スタッフからの挨拶が無い、店舗に清潔感が無いなどが主な減点理由となっていました。



純情ブランド消費地の「今」をリポートします。

消費地販売部 発

消費地だより

消費地販売課に来て感じたこと

今年度、JA新いわてから消費地販売部に出向している、藤原一順です。今回は、私が東京に来て感じたことを報告いたします。

私の主業務は、岩手県産野菜の販売に係る交渉・情報交換であり、消費地へは産地の「作柄状況・出荷計画」などの情報提供や販売先との商談、量販店での岩手県産野菜の宣伝、販売促進など、産地へは「園芸市況速報」をはじめとする消費地の情報提供や新しい販売の提案などの業務を行っています。

販売に関して、JAにいた頃は、自分の担当エリアのことだけ考えていれば良かったのですが、東京に来て、様々な地域のJA・生産者や各市場担当者と話をして、生産者の思い、JAの販売戦略、市場の考え、消費者の要望など、一つの野菜、一つのエリアでも異なる、その一つ一つを学んでいくことで改めて岩手の大きさを知りました。

今年度は天候不順により出荷が不安定だった時期も多く、また相場も低迷の時期が長く厳しいシーズンでした。価格の取り決めがされている契約出荷については、おおよそ欠品なく対応できましたが、レギュラー出荷については、量の増減が激しく、産地の作柄状況等を随時連絡していましたが、市場担当者もシーズン中は販売に苦戦していることが多かったように感じました。

去る11月20日に開催された、いわて純情野菜幹事会でも、そのことが課題として挙げられ、幹事会では「重点販売先での売り場を確保するため、安定供給体制の構築をす

すめてほしい。」という産地への提言が出されました。

「いわて純情野菜のファンがいる。」「販売指定席があり、他県産では代替えができない」と各市場から言われており、どの市場も岩手県産野菜を求めています。そのため、夏秋野菜については来シーズンに向けて、各地域のJA・生産者で「より良い販売に繋げるには何をしたら良いか?」「どうやったら安定供給体制が構築できるのか?」と検討を重ねていただきたいと思います。

私も、産地の生産状況を販売先へつなぎ、販売先からの様々な要望を産地へ返す「橋渡し」として、より良い販売が出来るように、今以上に努力していきます。



消費地販売課 藤原 一順



JA新いわて冬野菜トップセールス(12月8日開催)

みんなの分教場

生産者の手取り増大に寄与する水稻の省力施肥法

資材部 営農技術課 技術主管 小菅 裕明

本会では、一昨年から2JAをモデルJAに選定し、生産者手取り最大化に向けたプロジェクトを立ち上げ、モデルJAと協力しながら生産者の手取り増大に向けた様々な取り組みを実施しています。更に、モデルJAでは、水稻作中心農家の中からモデル農家を選定し、高密度苗移植栽培や土壌診断に基づく肥料試験等の生産コスト削減に寄与する技術の試験・検証を行っています。

- ① 乳苗(高密度苗)移植栽培
- ② 直播栽培(鉄コ等乾田)
- ③ 土壌診断に基づくBB肥料(一発施肥体系、奨励措置他)
- ④ 直播防除体系改善(湛水直播・安価ヒエ剤+高性能一発剤他)
- ⑤ 多収品種
- ⑥ 大型規格農薬(奨励措置) 他

緩効性肥料である被覆肥料(※1)の開発により、水稻栽培では昭和60年台に普及が始まり、①全量基肥で追肥の省略、②慣行の基肥+追肥の窒素成分を1/3程度削減可能、等から省力施肥法として広がりました。

近年、新たに高度な(主に窒素分)溶出タイプ(※2)も増え、更にリニア型が短期溶出タイプ、シグモイド型が長期溶出タイプに分化したこと、これらの組み合わせと地域の気温(地温)データと資材の発現特性値を用いて作成される養分発現パターンから、稲の生育吸収に適応した肥料銘柄が開発されています。

「被覆肥料」の利用拡大

岩手県農業研究センターにおける被覆肥料を配合した肥料試験では、収量性と食味性を含めた品質の両方を満たすことを重要としています。これまでも水稻の栽培法ごとに最適な配合を検証し、表1に掲げた新たな水稻追肥省略施肥法、湛水乾田等直播栽培施肥法や育苗箱全量施肥法などの研究成果を公表しています。

表1 被覆肥料に関する水稻関係の技術成果(岩手県農業研究センター)

成果年度	研究成果名
昭和61年度	温度感応で溶出する肥料を利用した水稻追肥省略多収技術
平成元年度	温度感応で溶出する肥料を利用した水稻追肥省略多収技術<追補>
《以下、以前に比べて高度な溶出制御技術の成果》	
平成20年度	肥効調節型肥料(シグモイド型)で水稻の肥料費を低減
平成21年度	育苗箱全量施肥による水稻のリン酸・カリ無施用栽培
平成22年度	水稻の乾田直播栽培法(基肥に全量肥効調節型肥料)
平成28年度	水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料の配合⇒別記参考

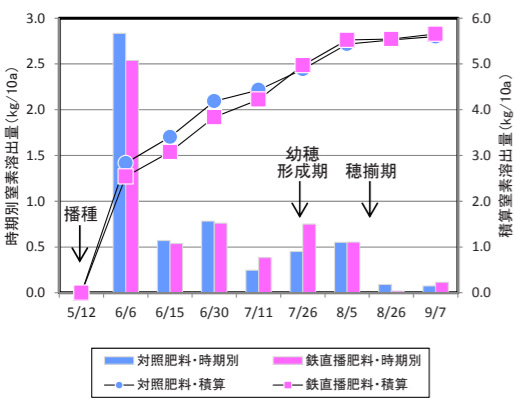


図1 肥料の窒素溶出量の推移

開発した肥料(以下、鉄直播肥料)の窒素構成 LPコート30:CG40:セラコートR70=13:50:37

別記参考:(研究成果「水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料の配合」から抜粋) 「ひとめぼれ」「どんびしゃり」の鉄コーティング湛水直播栽培は、播種から苗立ちまでの期間長く、カルパー種子を使用する場合は水管理が異なるため、緩効性肥料の溶出タイプの、異なる3種配合により、溶出を初期抑制し、幼穂形成期頃に肥効が促進する配合を明らかにしました。(銘柄名:BB湛水直播専用G633)

出典:岩手県農業研究センターH29研究レポート「水稻鉄コーティング湛水直播栽培に適する肥効調節型肥料」

参考:BB肥料(本県等全国15JAグループ、18工場で製造)Bulk(粒状のバラ)とBlending(配合)の頭文字をとった粒状配合肥料。本会では単純配合によるメリットを活かし、大規模生産者向けのオーダーメイドBB肥料や広域供給を推進しています。(なお、同じ配合肥料のうち「化成肥料」は造粒等の製造工程で化学的操作(反応)を加えた、粒が均一な肥料をいう。)



写真1 配合肥料の形状 左:化成肥料 右:BB肥料(エルビー入り特載専用)

JA全農いわての純情人

趣味・特技

野球(右投左打、遊撃手 目標とする選手 菊池雄星) 音楽鑑賞(70、80年代 目標とする歌手 長渕剛)

現在の担当業務

主に肥料および農業技術に関する業務。低コスト生産・手取り最大化などの営農支援事業、また土壌診断事業の連絡・調整も担当しています。

これからどんな職員になってみたいか

あらゆる業務に対し、スピード感をもって取り組める人間を目指します。また全農の仕組み、全農を取り巻く環境を深く理解し、最終的には全農を引っ張っていけるような存在になりたいと思います。

その他アピールしたいこと

私は野球部所属ですが、7月の全農大会では悔しい結果に終わってしまいました。今年は必ず優勝する自信がありますので、必ず応援にいらしてください。必ず打ちます。よろしくお願いします!



資材部 営農技術課 おうみ 近江 輝さん

趣味・特技

国内旅行・読書・バスケットボール

現在の担当業務

残留農薬の連絡対応・実績の取りまとめ・価格安定事業についての業務

これからどんな職員になってみたいか

自分の考えだけに偏ることなく、柔軟に物事に対応していける職員になりたいです。

その他アピールしたいこと

まだまだ周囲の方を頼ってばかりで迷惑をかけっぱなしですが、早く一人前になれるよう頑張ります。よろしくお願いします!



園芸部 生産販売課 かわはた かすみ 川畑 春海さん

いわて2017 純情むすめ ハーフタイム



「2017いわて純情むすめ」として活動を始めてから、早くも半年が経ちました。初めてのことに戸惑ってばかりいた彼女たちも、いつしか活動に対して自分の思いを持つように。折り返し地点を迎えた今、これまでの活動を振り返り感じたこと、また残り半年に向けた抱負を語ってもらいました。司会進行役は、みんなを優しく温かく包み込む、頼れる“ちゃんもも”こと藤澤桃子さんです。

印象に残っている仕事は何ですか？

藤澤 私が一番印象に残っているのは「銀河のしずく」のCM撮影です。撮影は緊張の連続でしたが、「銀河のしずく」を岩手の人だけでなく、全国の人に食べてもらいたいという思いで撮影に臨みました。私は、産業まつり。各地域の生産者さんとお客さんが一つになっていた。生産者さんとお客さんのつながりを担うお手伝いできたのがよかったです。温かさを感じることをできました。生産者さんがないと、わたしたちは何も食べる事ができないんだと改めて感じられました!!

古館 私は、大阪での「金色の風」と「銀河のしずく」のPRです。初めての大阪で緊張したけど、なんとか乗り切りました!!今までは、県内の評価しか聞くことができなかったけど、県外の人が岩手のお米をどう見ているのかがわかりました。

木村 私は、大阪での「金色の風」と「銀河のしずく」のPRです。初めての大阪で緊張したけど、なんとか乗り切りました!!今までは、県内の評価しか聞くことができなかったけど、県外の人が岩手のお米をどう見ているのかがわかりました。

佐藤 「いわて牛後継者枝肉共励会」がとて印象的でした。まるまる牛一頭が流れてくるのを見るのは初めてで、ただ驚き感動しました。純情むすめの仕事をしてないと、このような経験はできません。他の都道府県のお肉も見ることができましたが、岩手のお肉は他県と比べて高いランクが付けられていました。岩手のお肉の品質の高さを知り、感激しました。もつとそのことを消費者に伝えたいです。

内田 私は、沖縄での盛岡フェアが印象に残っています。沖縄のお客さんの県産米への興味が想像以上に高く、ステーションイベントもとても盛り上がり、やりがいのあるフェアでした。県外とのつながりを大切にしたいです。

佐藤 「金色の風」と「銀河のしずく」は味の違いがわかるので、食べ比べができて面白いですよ。

木村 価格も大事だよ。kg数が増えていくと、一回に出すお金が増えていくから、お財布の紐が固くなってしまいう人もいます。初めて買う人には、お財布に優しい小さめなサイズを勧めてみればいんじゃないかな。

藤澤 質問されて答えられないことが多いので、お客さんに県産農畜産物の特長等を説明する難しさを感じています。説明するためには、自分がわかっていないといけない。質問に積極的に答えられるようになっていけたらと思います。あと、純情むすめの人など情報を共有する時間をもてればいいな。なかなか会って話せる時間がなくて残念です。

木村 私もみんなで会って話す時間が取れればいいなと思います。自分がイベントで経験して学んだことをみんなで共有して、他の4人の今後の活動に活かしていきたいらな。私も、お客さんに質問されて答えられず、悔しい思いをするときがあります。販促のためにイベントに来ているのに、悔しい。

古館 「金色の風」と「銀河のしずく」が一緒に入ったセットとかどうかな? それいいよね~!

佐藤 古館 「金色の風」と「銀河のしずく」が一緒に入ったセットとかどうかな? それいいよね~!



藤澤桃子(ちゃんもも)



木村愛(あいぼん)

にして、他県の農畜産物がたくさん出回る中、岩手県の食材を選んでもらえることに繋がるお手伝いをしていきたいです。

いわて純情むすめになって、自分自身に変化・成長はありますか？

藤澤 スーパー等で買い物をするとき、岩手県などの地域で生産されているのか気になるようになりました。販促でお客さんについてか勧めるときはくるかもしれないと意識しながら買物したり、調べたりするようになりました。

古館 私も県産農畜産物を消費してこういう心がけをするようになりました。私だけじゃなくて、家族や友達にもそういう気持ちで伝染しているかも。職場の人にも、「この間食べたんだけどさ」と報告までしてくれました。

一同 (笑) 自分だけじゃなくって、周りにも変化が現れているのがすごい。

古館 私も、大学の先生が「金色の風」を買ったよって言ってくれました!!

木村 私も、大学の先生が「金色の風」を買ったよって言ってくれました!!

佐藤 私も(笑)大学で英語の講義を取っているんですけど、アメリカ人の先生が「金色の風」食べたって報告してくれました!

古館 知らないふりってできないよね。私は、販促が始まる前に、現場のスタッフさんをもいつも質問攻めして、知識を増やすようにしている。お客さんの中で、りんごを買うかどうか迷っている人がいたんだけど、おいしりんごの見分け方を伝えてみたら、「意外と知ってるんだね。買ってみるよ。」と言ってもらえたことがあった。

藤澤 え〜すごい。事前に勉強するようにしています。イオンでシャインマスカットの販促があったんですけど、スーパーではなかなか買ってもらえなかった。値段段、どうすれば買ってもらえるか悩みました。スタッフさんにおいしいマスカットの見分け方を聞いてたので、それをお客さんに伝えてみると、「数がある中でこれが美味しいと教えてくれたのね、それじゃあ買う。」と聞いてくれるお客さんがいました。知識って大事ですよ。

内田 シャインマスカットのイベントの時に、子連れのお客さんが来たんですけど、「シャインマスカットは種が入っていないので、お子さんにも安全に食べて貰えると思いますよ。」って伝えたら買ってくれました。子どもを考えたPRしていけば、子連れの方には買ってもらえるのかなと思います。



内田玲奈(うっちー)



古館純奈(じゅんじゅん)

一同 え〜アメリカ人が!!

内田 私も大学の先生が「銀河のしずく」のCM見たよ〜っていつか聞きました。あと、県産農畜産物を使用しているレストランがあると、嬉しくなります。ご飯に「銀河のしずく」を使ってるレストランがあったんですけど、普段はお米あまり食べないけれど嬉しくて食べちゃいました。

全国の消費者は、県産農畜産物をどうみていますか？

藤澤 意外と岩手の農畜産物のことを知っているお客さんがたくさんいます。自分の知らないことまで知っているお客さんなんて、勉強不足だなと思います。けれど、それと同時に、県産農畜産物の知名度があることに嬉しさも感じます。

古館 スーパーで販促活動をしていると、岩手の食材は美味しいからと高値でも手にとってくださる方が多いです。すごく高いけどいいもの。そのような農畜産物をどうすれば手にとって貰えるかだと思います。ちよつとでも自分の知識があれば、買ってくれる人もいます。

木村 お客さんの中には、岩手というだけで近寄ってくれる人もいます。岩手県の農畜産物のブランド力の高さを感じます。

後半戦に向けて、意気込みは？

藤澤 前半戦は、信じられないくらい早すぎてしまいました。前半で得た知識・経験を活かして、みんなと協力してがんばれたらと思います。

木村 本当にあつというま。二つのイベントを大事にしていきたいです。純情むすめになる前よりは、岩手の農畜産物について詳しくなれたと思うので、今後は自分なりの言葉でPRすることができたらいいな。

内田 さらに農畜産物の知識を深めて、お客さんに「買いたい!」と思ってもらえるようなPRをしていきたいです。何があっても笑顔忘れず対応します。

古館 自分なりに、できる限りお客さんの印象に残るようなPRをしていきたいです。

佐藤 せっかくだし、純情むすめ5人の共通の目標を作るのどうかな!



佐藤由紀(ゆきまる)

スポーツに励む子どもたちをサポート!!

12月3日(日)

第5回JA全農いわて いわて牛カップ S-1卓球グランプリ 兼 第15回全国ホープス選抜卓球大会・岩手選抜代表選手選考会

JA全農いわて畜産酪農部は12月3日(日)に、矢巾町民総合体育館にて行われた「第5回JA全農いわて いわて牛カップ S-1卓球グランプリ 兼 第15回全国ホープス選抜卓球大会・岩手選抜代表選手選考会」へ特別協賛しました。

この大会には、県内小学生総勢119名が参加し、年齢別に分かれ、日頃の練習の成果を出し合いました。上位入賞者へ、副賞としてトロフィーや楯のほか、畜産酪農部後藤和彦部長より、いわて牛を使用

12月2日(土)・3日(日)

いわて純情りんご杯 第34回岩手県小学生バレーボール育成大会

12月2日(土)・3日(日)に、JA全農いわてが特別協賛をしている、「第34回岩手県小学生バレーボール育成大会」(いわて純情りんご杯)が開催されました。この大会は、県内の小学生バレーボールチームが一同に会する機会を提供し、競技を通じて交流を深めることにより、一層の小学生バレーボールの進展につなげることを目的としています。男子26チーム、女子63チームが、日頃の練習の成果を発揮しようと競い合いました。JA全農いわては、全参加チームに、いわて純情りんご(10kg)を配りました。

大会結果は、男子の部では、「奥州江刺 JVC(奥州市)」が5年ぶりの2度目の優勝。女子の部では、「岩手びっきい〜ず(岩手町)」が

したサーロインステーキやローストビーフを贈呈し、食とスポーツは密接な関係にあることを伝えました。

今回岩手県選抜に選ばれた5名は、平成30年3月23日(金)~25日(日)に、神奈川県小田原市で行われる全国大会へ出場します。



初の栄冠を勝ち取りました。上位1~3位には、JA全農いわて園芸部の及川毅部長から、副賞を手渡しました。

女子の優勝チーム「岩手びっきい〜ず」は、第15回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会(平成30年3月25日~28日、群馬県開催)へ出場します。

黒工ラグビー部・遠野サッカー部を激励!!

12月12日(火)・14日(木)

黒沢尻工業高等学校ラグビー贈呈式 遠野高等学校サッカー部贈呈式

JAいわて花巻とJA全農いわては、12月12日(火)に、第97回全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場する黒沢尻工業高校へ、14日(木)には、第96回全国高校サッカー選手権大会に出場する遠野高校に、それぞれお米120kgといわて純情豚1頭分、支援金を贈呈しました。

12日(火)の、同JA本店で行われた贈呈式には、黒沢尻工業高校の三田章徳校長先生と伊藤卓監督、阿部竜二主将が出席。遠野高校の贈呈式では、同校岩淵信義校長先生と長谷川仁監督、高原優介主将が出席しました。JAいわて花巻の阿部勝昭代表理事組合長と本会小原俊英副本部長が、目録を手渡し、エールを送りました。その

エールに、各主将は真剣な眼差しで全国大会への意気込みを元気よく述べました。



本会小原副本部長より、いわて純情豚を受け取る阿部竜二主将



遠野高校贈呈式終了後の記念撮影



あけましておめでとうございます。新しい1年がやってきました!!年を経るにつれて、1年の経過するスピードがどんどん早くなっているように感じます。

昨年度は、社会人1年目という特別な1年になりました。自分の経験したことのないイベ

ントが、日々目の前に現れ、なんとかこなしていくことに精一杯な1年でしたが、刺激的な毎日を送らせていただきました。今一度、自分を振り返り、納得のいく1年を送りたいと思います!!今年もどうぞよろしくお願ひいたします。(佐藤)

酪農技術の向上へ

11月22日(水)

岩手県・若手酪農課の集い パートVIII

岩手県の酪農関係団体で組織する岩手県乳質改善協議会は、県内の酪農後継者やJA担当者など約90名を参集し、盛岡市内のホテルにて「岩手県・若手酪農家の集いパートVIII」を開催しました。この集いは酪農家間のコミュニケーションと相互の研鑽を目的に開催され、今年で8回目。

「岩手の若手酪農家に伝えたいこと」と題し、JA新しいわて奥中山営農経済センターの川又紀元さんが、1日の時間配分の重要さや農家同士の情報交換の大切さについて語り、酪農事業の今後を担

う若手酪農家へエールを送りました。また、今年は初めて県外の若手酪農家を招き、宮城県色麻町の早坂睦さん(27)が、いい堆肥で育てた牧草を牛に与えるメリットや、試行錯誤を重ねて経営を規模拡大した経緯などを紹介。今後もさらに、牛を増頭するとともに、牛の長命連産を目指すとの意気込みを語りました。



若手酪農家へアドバイスをする川又紀元氏

歴代協議会長3名へ感謝状

11月29日(水)

岩手県農協大型野菜経営者協議会 設立20周年記念式典

岩手県農協大型野菜経営者協議会とJA全農いわては11月29日(水)、八幡平市のホテルにて、同協議会20周年記念式典を行いました。当日は、会員やJA、市場関係者など約100名が出席。県産野菜の生産力・所得の向上に向け、決意を新たにしました。

同協議会の発展に貢献した歴代会長3名へ、高村亮一現会長より、感謝状と記念品を贈呈しました。受け取った初代会長の高橋義夫さんは、「10年間会長職として協議会に携わってきましたが、時代は大きく変化してきています。この変化に対応し、30年、40年と続いて

行って欲しいです。」とエールを送りました。

また、同協議会は平成30年1月にスペインのアンダルシア州やマドリド州を訪問し、海外の農業状況を視察する予定です。



農畜産物をいただくときのありがとうの気持ち

11月29日(水)

いわて牛・いわて短角和牛学校給食の日

JA全農いわては、11月29日(水)、いわて牛普及推進協議会とともに、「いわて牛・いわて短角和牛学校給食の日」と称し、食育イベントを開催しました。県内小中学校、特別支援学校の5万3千人を対象とした学校給食に、いわて牛・いわて短角和牛が使用されました。

盛岡市立北厨川小学校では、本会職員による、出前授業を行いました。子どもたちは、牛の体の仕組みやいわて牛のおいしさの秘訣などを学びましたが、子どもたちの興味関心はとても深く、「牛の肉でー

番おいしいところは?」「牛のフンは堆肥に使われるの?」等、多くの質問が飛び交いました。授業の最後は、「肉を食べることは、農家さんが丹精込めて育てた牛の命をいただくことです。ありがとうの気持ちを忘れないでください。」と子供たちに伝えました。授業終了後は、机を囲んで給食を食べ、いわて牛が使用されたビーフシチューを味わいました。

本会畜産酪農部の後藤和彦部長は、「スポーツをはじめとして、何をするにしても、良いものを食べて体を作ることは大事なことです。」と子どもたちへ食の大切さを呼び掛けました。



子どもたちが積極的に参加し、盛り上がった授業



給食時間を楽しむ本会后藤部長と子どもたち



純情産地いわて 宣伝本部長のん

いわての牛乳

ありがとうキャンペーン

期間 2018.1/9(火) > 2/28(水)



サンキュー 合計 **390** 名様に 抽選で当たる!



がんばって集めて応募しよう!

リッチコース

20ℓを一口としてご応募ください



2名様



三菱電機 備長炭 炭炊釜 NJ-VX108

3名様



iRobot ロボット掃除機 ルンバ 885Plus

4名様



選べる!ペア宿泊券 ※旅館は当選後にお選びいただけます

チャンス.1

10ℓを一口としてご応募ください



お好みの賞品を選んで当たる!

A賞 6名様

パンもお惣菜も、作りたてのおいしさを復元!



SHARP ヘルシオ グリエ AX-H1

B賞 8名様

新作ソフト続々登場!



Newニンテンドー2DS LL ブラック×ライム

C賞 10名様

健康的なライフスタイルを!



Kuvings ヨーグルト&チーズメーカー KGY713SM

D賞 20名様

いわての食材を堪能しよう!



いわて純情ギフト 5,500円コース

E賞 30名様

美味しいいわての恵み!



いわて牛焼肉 もも・ばらミックス

F賞 100名様

白くてつややかなるやかな食感!



いわて純情米 銀河のしずく 5kg

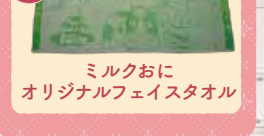
チャンス.2

リッチコースまたはチャンス.1にはずれた方の中から抽選でいずれかが当たる!

107名様



100名様



※不測の事態が生じ賞品の入手が困難となった場合は現行相当品に変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。※写真はイメージです。※色はお選び頂けません。

対象メーカー

- ・(有)安比高原牧場
- ・(一社)葛巻町畜産開発公社
- ・(株)おおのミルク工房
- ・不二家乳業(株)
- ・岩泉乳業(株)
- ・岩手ふるさと農業協同組合
- ・小岩井乳業(株)
- ・(株)湯田牛乳公社
- ・(株)岩手牛乳
- ・(一社)田野畑村産業開発公社
- ・タカナン乳業(株)
- ・大石乳業(株)
- ・奥中山高原農協乳業(株)

※農協牛乳もキャンペーンの対象となります。

応募方法

対象メーカーの牛乳パックに記載の公正マーク表示部分を10枚分(1ℓ=10枚、500ml=5枚、200ml=2枚)を1口(リッチコースは20枚分を1口)として、専用応募封筒または一般封書に必要事項を明記の上、ご応募ください。お一人様何口でもご応募いただけます。

公正マーク表示部分の種類別名称に「牛乳」以外の名称が記載されているものはキャンペーン対象外です。公正マーク表示部分はココだよ



JA全農いわて | いわての牛乳ありがとうキャンペーン事務局 [(株)岩手広告社内] ☎ 019-623-3706 JA全農いわて 検索



私たちは「安心」を3つの視点で考えます。
■ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
■ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
■ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農いわて 総合企画課
JA全農いわてホームページ

〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145
<http://www.junjo.jp>

